

| | | | |
|--|---|---|----|
| 8月 モニターレポート | | 担当出張所 | 高槻 |
| 担当区間 | 淀川中流右岸 三島江河川公園～檜尾川合流点（右岸23.0km～28.2km） | | |
| モニター実施日時 | 令和元年8月23日（金）8時30分～9時45分 25日（日）9時30分～10時30分 | | |
| 天候 | 曇り | | |
| <p>（見出し）</p> <p>淀江河川公園をモニターしました。</p> <p>公園の施設の様子、植物の状況、出会った人たちの様子について報告いたします。</p> | | | |
| <p>（内容）</p> <p>・モニターセット（帽子、水、カメラ、双眼鏡、メモ用紙）を持って出発。今回も徒歩で行い、淀江河川公園に絞って調査しました。</p> <p>ここ数日に比べると比較的涼しい日でした。天気予報では雨になっていたせいか駐車場に止まっている車はわずか3台でした。芝生でボール遊びとみられる親子1組、犬を散歩させている人が1人でした。広い公園はひとけがなく、虫の音が聞こえてきました。</p> | | | |
|  | |  | |
|  | | <p>草丈が伸び、茂みの中から虫の音が聞こえます。いろいろな声が混じって聞こえますが、茂みの中にいるのでしよう虫の姿は見えません。森を思わすような木立で、セミの鳴き声もにぎやかです。</p> | |

11tak 森下モニター【淀川】

遊歩道はきれいに整備されていて草が短く刈り取られて歩きやすかったです。



看板がよく見えるようにまわりは、深く刈り込みがされていました。餌の虫を探しているのでしょうか、芝生の上を、ツバメが低く飛んでいました。目の前でこのような光景が見られ感動しました。



野バラの実が至る所にありました。秋には赤くなってくるので、その様子を見るのも楽しみです。

ノギク、ヒルガオ、ヘクソカズラなど野生の花はどれも可憐です。



この看板の近くにはけもの道のような細い道ができていて川に続いていました。

木立の間から見た水面です。昨日からの雨で濁っていました。





このあたりの河川公園から淀川の水面は見えないので、この向こう側が川であることを一瞬忘れてしまいます。このような看板があり、注意喚起されています。夏は草木が伸びやすく、せっかくの看板ですがつる草が絡まっているところが多々ありました。

1時間半かけて、公園を小さく一回りしました。散歩、ジョギング、サイクリングの人それぞれ数人に出会いました。この時間にピンポイントで利用している人は少なかったですが、いつでも気軽に、無料で憩える場があることは市民の大きな財産だと思いました。また、いつでも気持ちよく使えるように管理してくださっていて、ほんとうにあり難いです。空に黒い雲が立ち込めてきましたので、雨に会う前に今日のモニターを終えます。



今月の2回目のモニターを行います。前は平日で公園利用者が少なかったので、日曜日を選びました。駐車場には50台ほどの車がありました。野球場2面、テニスコート1面が使われており、ほかに芝生に20人ぐらいのグループがいました。

公園を歩いて出会った人たちは、散歩・ジョギング・サイクリングの親子・虫取りとさまざまでした。ひとけがない静かな公園もよいですが、このように人がいると公園が息をしているように感じました。



公園内はきれいに整備されていて、案内の標識があります。何よりうれしいのはトイレです。清掃は勿論のこと手洗い用・飲料用の水場もあり嬉しい限りです。また、使用していないトイレのドアが開放してあるのは、犯罪抑止にもなると思いました。



歩くうちに水辺へ。

高校生ぐらいの男の子が4人、釣りざおをのぼして魚釣りをしていました。自転車4台をフェンスに並べて。淀川は、思春期真ただ中の子の子たちの原風景になるでしょう。



対岸の枚方方面から見たことはありましたが、こんなに近くで見るのは初めてです。まじかに見て大きな川の流りに感動しました。

セミの鳴き声、野球ボールの快音と掛け声、オートバイや車のエンジン音・・・いろいろな音が聞こえて来て、そのすべてを受け入れているような水面の音。平和を実感します。



ナツズイセンとルドベキアが茂みの中で咲いていました。どこからか種が運ばれてきたのでしょうか、宝物を見つけたような気持ちになりました。

ここを自転車で走って、コーヒーを淹れて飲んだらおいしいだろうと想像するだけで楽しくなりました。1時間ほど歩き、ほどよく疲れて今日のモニターを終了します。

(意見・感想・処置等)

8月のレポートありがとうございます。

雨が降ったり止んだり、不安定な天気が続いておりますが、暑い時期は雨が降るくらいが涼しくて丁度いいかもしれません。そして虫たちの鳴き声は、まだまだ続く暑さに、秋の気配を先取りして涼を感じさせ、野鳥や草花は、見る人に季節が変わって様子を伝えているようにも感じます。

そんな自然に囲まれた空間の中でスポーツを楽しんだり、気軽に休憩が出来る淀川は、国民の貴重な財産だと思います。

写真の野バラの実は、実の付き方や大きさが異なり、とても可愛らしいですね。秋になって赤く染まった実はブーケにしたり、ポットや小皿で飾ったりと、いろいろな楽しみ方があるそうです。

注意喚起の看板の報告ありがとうございます。見えにくくしている看板の周りの雑草を含め、出水期前後の年2回実施しております2回目の除草作業が9月初旬から始まります。順番に除草をしていきますので、もうしばらくお待ちください。

では、来月のレポートも宜しくお願いします。